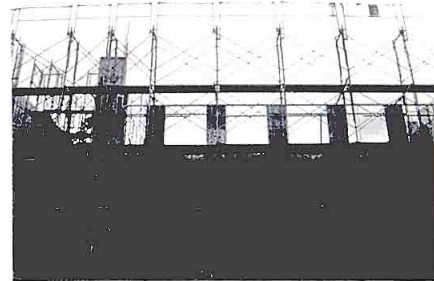
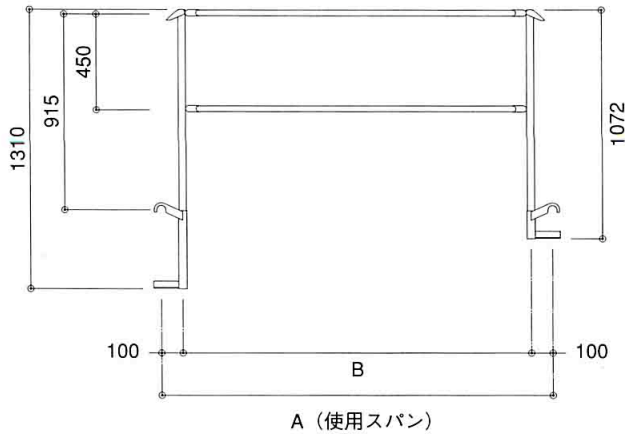


先行手摺枠・巾木

先行手摺枠

据置方式・先送方式、兼用型



記号	A _m	B _m	質量kg
TWK-18	1829	1629	10.0
TWK-15	1524	1324	9.3
TWK-12	1219	1019	8.6
TWK-9	914	714	7.8
TWK-6	610	410	7.1

1. 常に手摺が先行して組立・解体作業が出来、墜落・転落を防止。
2. コンパクトで作業は効率的に行えます。
3. 折たたみ式で、運搬・収納が楽に出来ます。
4. 親網代わりになります。(100kg落下試験で実証)
5. 据置方式では、ブレース兼用且つ2段手摺になります。
6. 盛替えて、先送方式としても使用できます。

巾木

巾木施工例

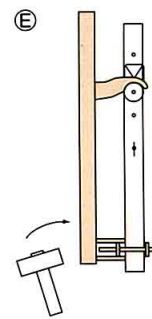
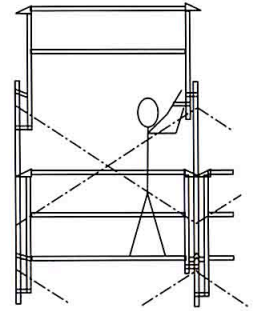
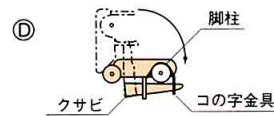
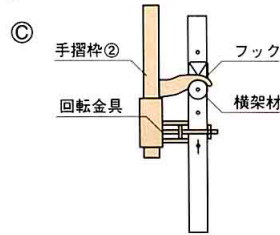
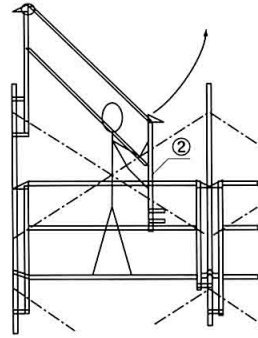
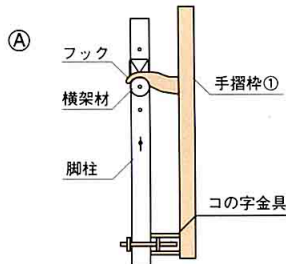
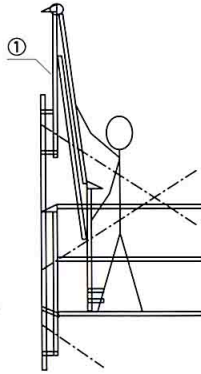


記号	A _m	B _m	質量kg
FHR-18	1829	1819	4.4
FHR-15	1524	1514	3.9
FHR-12	1219	1209	3.3
FHR-9	914	904	2.8
FHR-6	610	600	2.3



取付手順

先行手摺柱・据置方式

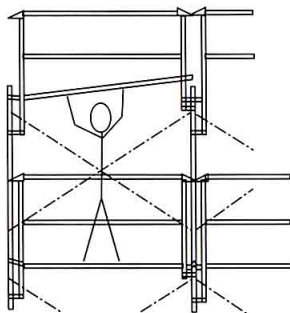


I 手摺柱の取付

(1) 折り畳んだ手摺柱上方の手摺柱①のフックを横架材に掛け (図A)、次にコの字金具を脚柱にはめ込み、クサビを挿入します。(図B)

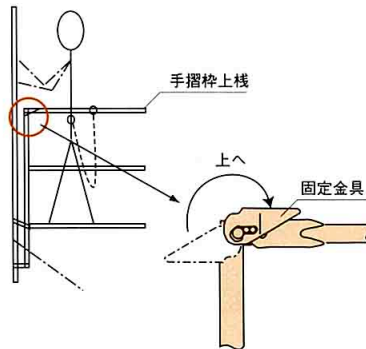
(2) 下方の手摺柱②を持ち上げ、フックを横架材に掛け (図C)、回転金具を回転させながらコの字金具を脚柱にはめ込み、クサビを挿入します。(図D)

(3) 両側の手摺柱①、②のクサビを打ち込み手摺柱を脚柱に固定します。(図E) 次のスパンも同様に組み立てて行きます。



II 鋼製布板の設置

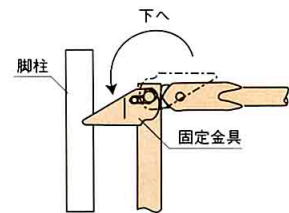
手摺柱を取付完了後、鋼製布板を設置します。



III 上層の建杵・ブレースの組立

手摺柱の上棧に安全帯を取り付け、建杵を組立てます。

建杵を設置する際は、脚柱が干渉しないように、固定金具を上回転させた状態にしておいてください。



IV 手摺柱上部の固定

固定金具を下に回転させ、手摺柱上部を脚柱に固定します。